

令和 7 年度における各 PCB 処理事業の進捗状況について

1. 概況

JESCO は、令和 7 年度をもって高濃度 PCB 廃棄物処理事業を終了した。

北九州、豊田及び大阪 PCB 処理事業については令和 5 年度末をもって全ての処理を終了しており、東京及び北海道 PCB 処理事業については、事業終了準備期間を活用し処理を継続してきたが、令和 7 年度末までに登録された廃棄物の処理を全て完了し、事業を終了した。

(1) 北九州 PCB 処理事業

変圧器・コンデンサー等については平成 30 年度末、安定器・その他汚染物については令和 5 年度末をもって全ての処理を終了している。平成 16 年 12 月の処理開始以来の累計処理実績は、変圧器類 2,823 台、コンデンサー類 59,403 台、安定器・その他汚染物 10,296t である。現在は、処理施設の解体撤去工事を進めており、1 期施設は建築物の解体撤去、2 期施設はプラント設備の解体撤去を実施している。

(2) 豊田 PCB 処理事業

令和 5 年度末をもって全ての処理を終了している。平成 17 年 9 月の処理開始以来の累計処理実績は、変圧器類 2,493 台、コンデンサー類 79,136 台である。現在は、処理施設の解体撤去工事を進めており、プラント設備の解体撤去を実施している。

(3) 東京 PCB 処理事業

事業終了準備期間の最終年度として処理を実施し、令和 7 年度は変圧器類 2 台、コンデンサー類 94 台を処理した。平成 17 年 11 月の処理開始以来の累計処理実績は、変圧器類 3,805 台、コンデンサー類 85,724 台である。令和 7 年度末までに登録された廃棄物の処理を全て完了し、事業を終了した。現在は、処理施設の解体撤去に向けた準備を進めている。

(4) 大阪 PCB 処理事業

令和 5 年度末をもって全ての処理を終了している。平成 18 年 10 月の処理開始以来の累計処理実績は、変圧器類 2,799 台、コンデンサー類 85,340 台である。現在は、処理施設の解体撤去工事を進めており、プラント設備の解体撤去を実施している。

(5) 北海道 PCB 処理事業

事業終了準備期間の最終年度として処理を実施し、令和 7 年度は変圧器類 13 台、コンデンサー類 722 台、安定器等・汚染物 223t を処理した。平成 20 年 5 月の処理開始以来の累計処理実績は、変圧器類 4,143 台、コンデンサー類 70,639 台、安定器等・汚

染物 11,157t である。令和 7 年度末までに登録された廃棄物の処理を全て完了し、事業を終了した。現在は、処理施設の解体撤去に向けた準備を進めている。

2. 処理実績

令和 7 年度は、東京及び北海道の 2 事業所において、変圧器類 15 台、コンデンサー類 816 台、安定器等・汚染物 223t を処理した。

試運転開始後これまでの処理量の累計は、変圧器類 16,063 台、コンデンサー類 380,242 台、PCB 油 29,409 本、安定器等・汚染物 21,453t である。

各 PCB 処理事業の令和 7 年度月別処理 2 実績を図 1 に示す。

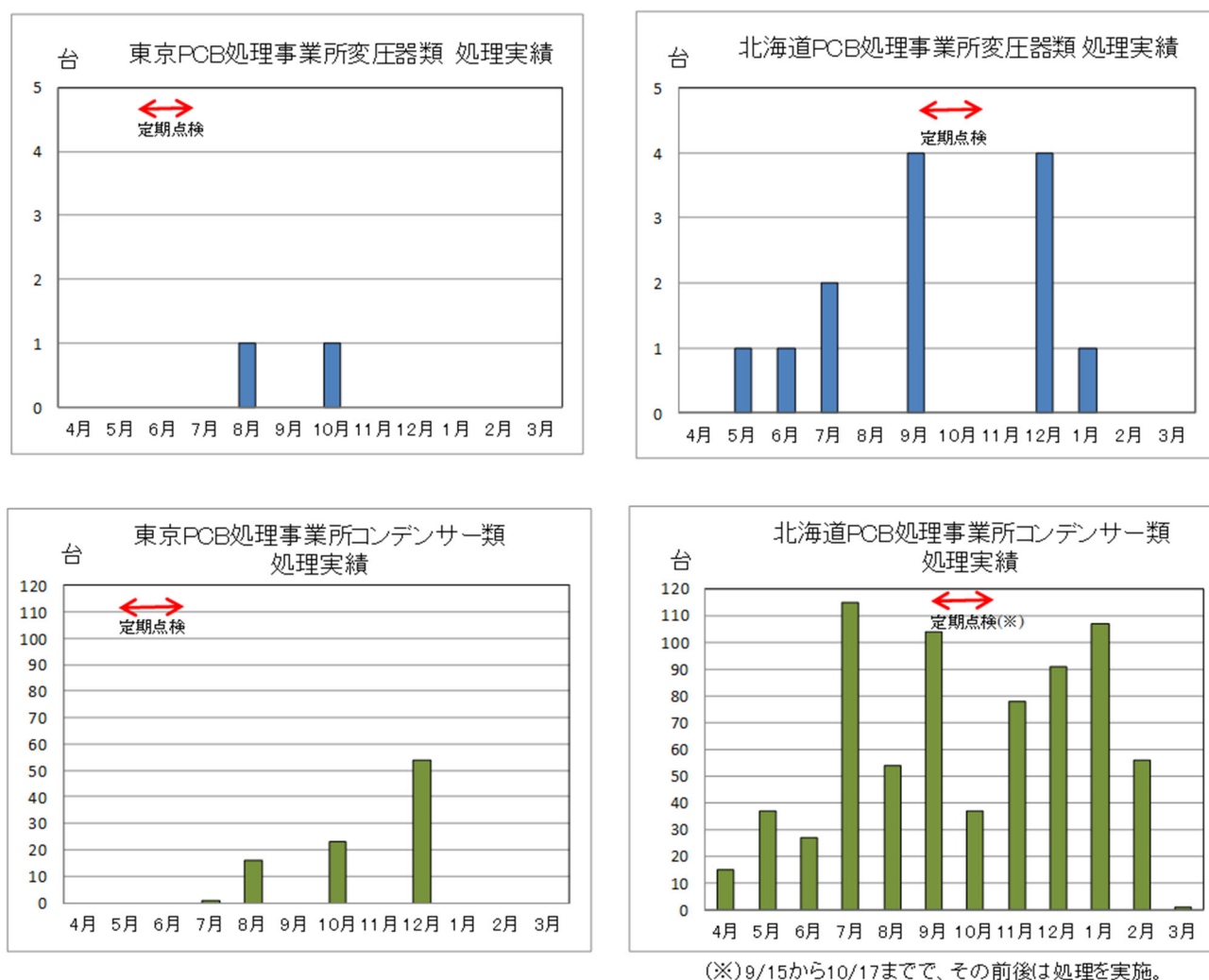


図 1 東京、北海道処理事業の令和 7 年度月別処理実績
(変圧器・コンデンサー)

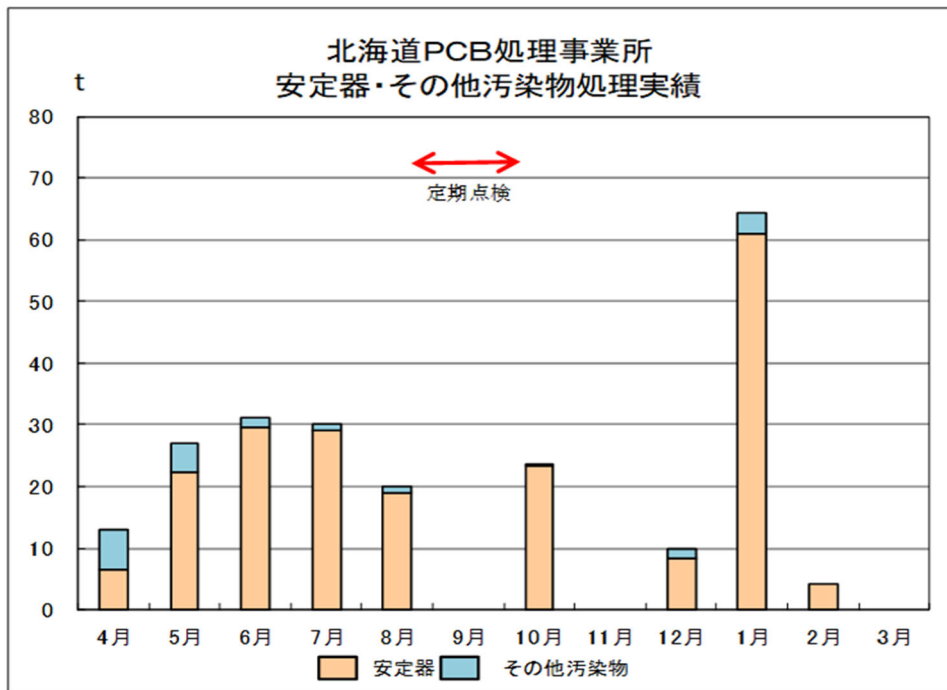


図2 北海道処理事業の令和7年度月別処理実績
(安定器等・汚染物)